

### 一般質問より(要旨)

## おもてなしの見える化で、声をかけやすい街づくりへ!

障がいのある方も暮らしやすい社会を実現するために、おもてなしができる人や企業等がわかるよう、ステッカー等で「見える化」することもやさしい街づくりにつながるのではと質問しました。

区長からは、来年度の街づくりワークショップでは、ボランティア意識の向上を掲げ、意思疎通のツールやボランティアとわかる表示方法についても検討してまいりますとの答弁がありました。



ヘルプマークは、援助が必要な方が身につけるマークです。▲「見える化」の一例(写真は都が作成したヘルプマーク)

## 図書館を、仕事と暮しに役立つ“課題解決”の場へ!



図書館には今、課題解決型の図書館が求められています。貸出しサービスとともに課題解決を支援するレファレンス機能の充実について質問しました。教育委員会事務局次長からは、

専門性の高い司書を配置するとともに、職員の培ってきた知識と経験を活用してレファレンス機能を高め、区民に課題解決の場を提供してまいりますとの答弁がありました。

## 身近にある施設等でも、区のイメージアップを推進!

区のPR効果も相乗的に期待できるブランディング戦略等の推進について質問しました。区民部長からは、区民が多く集まる施設や公共交通機関への広告掲示やオリンピック・パラリ

ンピック用のカウントダウンデジタルパネルの設置など、引き続きロゴマークを旗印としたブランディング戦略に基づき、広く江東区の魅力を発信してまいりますとの答弁がありました。



▲江東区役所本庁舎の外壁に掲示されたロゴマーク

### ◆上記以外の一般質問

①安心して住めるまちづくりについて  
・ユニバーサルデザインのまちづくり  
・区長の定例記者会見における手付映像での情報発信について

②今後の図書館像について  
・本を探しやすいような工夫や図書館内のレイアウト変更等について  
・深川図書館はじめ各図書館所蔵の郷土資料の活用について

③江東区の魅力度アップについて  
・婚姻届け書の新デザインの反響と今後の展開について  
・記念撮影用メモリアルボードの夜間・休日使用時の配慮について

区民相談、法律相談はお気軽に…江東区役所3階 江東区議会公明党相談室にて実施  
区民相談は ☎3647-9111 (内線3541~3) <http://www.kotokomei.ne.jp/>

無料法律相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	28	12・26	9・23	7・21	休止	8・22	13・27	10・24	8

法律相談は毎月、第2・4金曜日を基本に、当日受付順にて、午後2時より実施しています。

## 江東区議会公明党

# 区政レポート

平成29年4月22日発行【第150号】/発行責任者:磯野繁夫 江東区亀戸4-12-3

春季号  
2017



## 公明党の提案が続々カタチに!

### ▶ がん検診は、区の検診で受ければ通常約1割の費用負担 がん検診、予防接種の充実で健康寿命日本一へ



区議会公明党は、「高齢者がいつまでも元気で長生きするためには、予防や検診に力を入れなければならない」との信念で、前立腺がん検診の実施をはじめ、がん検診の拡充や、肺炎球菌ワクチンの予防接種などを推進してきました。大腸がん・乳がん・前立腺がんなどの検診は、区の検診で受ければ通常約1割の費用で済みます。また、肺炎球菌ワクチンは、仮に江東区の高齢者全員が毎年接種すると、毎年20億円の医療費が削減できる計算になります。区議会公明党は、高齢者と行政のどちらにもメリットが大きい点を強調し、健康寿命日本一を目指し、さらなる拡充に取り組んでいます。

### ▶ 蛍光灯や乾電池等の水銀を含んだ廃棄物を他の燃やさないごみと分別して回収 水銀使用製品の安全・確かな回収を推進

日本は水銀に関する水俣条約※を2016年2月初めに締結。水銀(メチル水銀)は水俣病を発症する原因物質で、体に取り込まれた水銀は脳細胞を壊し運動機能を麻痺させてしまいます。区議会公明党は、この条約遵守と区民の安全性を徹底するため、区へ水銀使用製品のごみ回収システムをつくることを要望。区は、蛍光灯や乾電池、水銀体温計等の水銀を含んだ廃棄物を他の燃やさないごみと分けて集積所に出すシステムを開始しました。



▲2016年9月19日より新たな分別回収システムがスタート(写真は回収された水銀を含んだ廃棄物)

※水銀の使用や輸出入を規制し、適切に保管・廃棄するルール

江東区議会公明党は、ネットワーク政党ならではの強みを生かし、区、都、国が連携して、皆様の安全・安心・快適な暮らしを実現してまいります。

### 代表質問より(要旨)

いその しげお  
**磯野 繁夫**

幹事長／議会運営副委員長  
清掃港湾・臨海部対策特別委員



## 計画通りの区職員数を堅持し、区民サービスを向上!

限られた財源の中、これまでも様々な職員定数の削減を図ってきておりますが、これまでの定員適正化の評価と今後の見通しについて質問しました。

**区長からは**、今後、オリンピック・パラリンピック開催準備や

人口増加による行政需要の増大が見込まれる中、平成26年度の計画職員数2,755名を超えめよう、簡素で効率的な体制を堅持しつつ、区民サービスの向上に努めてまいりますとの答弁がありました。



▲最適な人員配置によって運営される区役所窓口

## 国や都の制度を活用し、待機児童解消を推進!



▲区内3園目のサテライト保育所

都では昨年9月、「待機児童解消に向けた緊急対策」を打ち出しておりますが、これらの都の緊急対策に対する本区の対応状況や今後の取り組みについて質問しました。

**政策経営部長からは**、平成29年

4月に開設する冬木の保育所では都補助金等を積極的に活用。今後も、施設の建物賃借料補助の創設や宿舍借り上げ補助の年数制限撤廃など、更なる事業の充実を図ってまいりますとの答弁がありました。

## 福祉人材を確保する、様々な定着支援策を推進!

長寿サポートセンターは、4月より21センター体制に拡充する一方、福祉人材の確保が非常に厳しい中で、職員の確保が心配されます。そこで、現在の状況と今後のセンター職員の定着策について質問しました。

**福祉部長からは**、定着支援策として、1所50万円の支援金を用意。また認知症など、特定分野に強みを持つセンターが他のセンターを後方支援する体制も重要で、設置に向け検討してまいりますとの答弁がありました。



▲特別養護老人ホーム 故郷の家・東京

### ◆上記以外の代表質問

- ①平成29年度の区財政運営について
  - ・29年度予算の編成について
  - ・オリンピック・パラリンピックに向けての予算とその効果について
  - ・公共施設等総合管理計画の財源等について

- ②行財政改革計画等について
  - ・区職員の人材育成について
- ③都政と長期計画の今後について
  - ・都の「セーフシティ」「ダイバーシティ」
  - ・「スマートシティ」の実現施策と本区の長期計画の施策との関連について

- ④本区の高齢者施策について
  - ・特別養護老人ホーム・グループホーム等の高齢者施設の整備について
  - ・認知症施策の今後の取り組みについて
  - ・高齢者の見守り・生活支援の新たな施策について

### 一般質問より(要旨)

さたけ としこ  
**佐竹 としこ**

文教委員長  
清掃港湾・臨海部対策特別委員



## 女性防災リーダーを活用し、地域防災力の向上を!

地域の防災力向上には女性の視点がかせません。本区の防災会議への女性登用は現在20%ですが、今後、防災会議や避難所運営本部における女性委員の登用をどのように進めるのかについて質問しました。

**区長からは**、本区では女性の参加を積極的に呼び掛けるなど、防災の人材育成に取り組んでおりますが、今後は女性の防災リーダーを活用するための具体的な方策についても検討してまいりますとの答弁がありました。



▲“女性の視点”を生かして作成した防災対策リーフ

## 災害時用「乳児用液状ミルク」備蓄品化等を推進!



▲写真は城東幼稚園

災害時の幼稚園・保育園は、乳幼児と共に避難できる場所として、乳児用液状ミルクなどの備蓄や、子育ての相談窓口など、心のケアに対応できる体制の必要性について質問しました。

**区長からは**、防災計画では各園

は乳幼児と共に避難する専用避難所という位置づけはしていませんが、復旧時には子育て相談等にも対応。液体ミルクの備蓄については、国の動向を見据えながら検討する考えでありますとの答弁がありました。

## 地域資源のネットワーク化と「まちの駅」設置を!

鉄道の駅がない砂町地区に、コミュニティバスや路線バス等の拡充やコミュニティサイクルポートの設置。また観光客や地域の方々に役立つ「まちの駅」設置等について質問しました。

**土木部長からは**、砂町地区には

今後も複数のコミュニティサイクルポートを設置する予定。「まちの駅」の設置にあたっては、適地の確保などの課題もあることから、地域の方の意見を十分聴きながら検討してまいりますとの答弁がありました。



▲整備が進むコミュニティサイクルポート(写真は砂町文化センター脇)

### ◆上記以外の一般質問

- ①防災・減災対策について
  - ・命をつなぐ糧となる、災害時の高齢者・障がい者への情報提供について
  - ・避難所の室内・外における、暗闇での誘導について

- ・災害時に役立つ生活者の視点での具体的な情報提供への対応について
- ・災害時の高齢者の支援について
- ②城東地域のまちづくりについて
  - ・水辺の活用をネットワーク化したイベントの開催について

- ・文化施設、商店街、歴史的資源を活用した砂町地域の活性化について
- ・安全・安心・快適なまちづくりについて
- ・電線類の地中化の現状について
- ・観光の資源である仙台堀川公園の改修について